

## 平成29年度 第2回江南警察署協議会議事概要

開催日時	平成29年9月29日(金) 午後3時30分から午後5時15分まで		
開催場所	江南警察署講堂		
出席者	委員 (定数6人)	丸山会長      大沢副会長      小柳委員 川又委員      倉嶋委員      渋谷委員  (会長・副会長以下50音順)	計6人
	警察	五十嵐署長      徳永副署長      渡辺警務課長 川上生活安全課長      坂口地域課長 牛嶋交通課長      警備課長      警務係長	計8人

### 管内の治安情勢

署長から、平成29年8月末現在の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

### 江南警察署協議会会則の一部改正

協議会定数を10人から6人にする一部改正案が審議・承認された。

### 前回の答申事項に対する業務推進状況

署長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

#### 1 犯罪抑止対策の推進

##### (1) 特殊詐欺被害防止対策の推進

- 学生ボランティア等と協働して大型ショッピングモールや亀田まつりイベント会場において、被害防止広報活動を実施した。
- 管内の中学生及び保護司と連携して大型スーパーマーケット店頭において、来客者に対する被害防止広報活動を実施した。
- 江南署防犯キャラクター「KEYマン」を活用し、大型体育施設において、利用客に対する被害防止広報活動を実施した。
- 水際対策の一層の推進を図るため、信用組合において、研修会を開催し、未然防止の意識を醸成した。
- 視覚と聴覚で訴える「ボイスポリス」を管内の大型スーパーマーケットのATMコーナー3か所に設置し、買物客に対する被害防止広報活動を実施した。
- 前兆電話等が多発した際、地域住民に対する広報、マスコミへの報道発表を実施するなど、タイムリーな情報発信に努めた。

##### (2) 侵入盗対策の推進（施錠率の向上）

- 「ロックの日」において、自治会等と協働し、大型スーパーマーケットにおいて、施錠率向上のための広報活動を実施した。
- 地域住民と協働した活動として、自治会員と一緒に防犯診断を行うとともに、

公民館において防犯安全講話を開催し、施錠率向上のための広報啓発活動を実施した。

## 2 交通秩序の確立(飲酒運転の根絶)

### (1) 交通指導取締りの推進

- 交通課員及び地域課員が幹線道路を中心としたミニ検問を実施し、飲酒運転の取締りを強力に推進した。
- ミニ検問時には、車両の運転者に対し、「飲酒運転根絶」を合わせて広報するなど、ミニ検問の効果が上がるような対策を講じた。
- 隣接署及び交通機動隊と交通事故実態の情報の共有を図りながら、交通指導取締りの強化を図った結果、高齢者事故及び自転車事故が減少した。

### (2) 広報・啓発活動の推進

- 児童、企業及び高齢者に対する交通安全講話を継続的に開催し、「交通事故に遭わない、交通事故を起こさない。」旨の広報・啓発活動を推進した。
- 「夏の交通事故防止運動出発式」において、江南区、保育園児及び江南地区地域安全推進委員等と協働した交通安全広報を実施した。  
広報では、関係機関・団体と地元企業が協力し、車両運転者に対して「交通事故違反しまセンベイ」及び「事故梅梅(バイバイ)」と称した地元製菓の煎餅と特産物である梅を配布しながら、交通違反・交通事故防止を訴えた。
- 新潟中央区役所、江南地区交通安全協会、新潟市江南区交通安全指導員等と連携して大型スーパーマーケット店頭において、来客者に対し、交通事故防止及び自転車の安全利用を広報した。

## 業務推進状況に対する意見・質疑等(○は署長等の説明)

行政区割と江南警察署の管轄が同じになったことで、交通安全運動や防犯活動等の協働行事が今まで以上にしやすくなったので、今後も協力して進めていただきたい。

## 諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

### 1 犯罪抑止対策の推進

- 特殊詐欺被害防止対策の推進  
8月末現在、県下の特殊詐欺被害件数は、137件(前年同期比+19件)、被害金額4億5,200万円(+1億円)であり、危機的状況にある。  
現在、「特殊詐欺シャットアウト緊急対策」を実施しているが、広報の柱として、「電話を受けない対策、だまされないための対策、金を渡さないための対策」の三本柱のスローガンを掲げて広く訴えている。  
当署として、今後も継続して、
  - ◎ タイムリーな情報発信、広域的な報道発表に努めるとともに、住民の方に対し、
  - ◎ 前兆事案情報の警察への早期通報を依頼していく。そのためには、「不審な電話、怪しい電子メールがあったね！」で終わらせることなく、生の声を警察に連絡(相談)するようあらゆる機会を通じて広報を推進する。
- 侵入盗対策の推進～施錠率の向上  
全刑法犯の約7割以上が窃盗であり、依然として、侵入盗及び乗物盗の被害の多くが無施錠であることから、引き続き関係機関やボランティア等の関係団体と連携し、鍵掛け意識の高揚と習慣化に向けた広報を推進する。

具体的には、

◎ 身近な盗難被害情報を発信

◎ 鍵掛けをしない理由として、「すぐに戻ってくる」、「被害に遭ったことがない」及び「鍵掛けは面倒だ」という考えを廃した広報

を強力に推進する。

○ 少年の万引き防止対策の推進（新規追加）

8月末現在、前年同期比＋8件、増加率400%であった。今後も被害に遭わない店舗づくりを始め、管内の学校(小学校10校、中学校7校、高校2校)と連携した万引き防止対策を推進する。

また、「江南地区学校警察連絡協議会」と情報共有し、規範意識の向上に努め、初発型犯罪である万引きを封じ込め、少年の健全育成を図っていく。

## 2 交通秩序の確立～飲酒運転の根絶～

○ 交通指導取締りの推進

飲酒運転の検挙者数は前年同期比－11件と減少しているが、今年も24件を検挙している。また、飲酒運転による人身事故は2件であり、前年同期比＋1件と増加し、いまだに飲酒に起因する交通事故が発生している。

今後、年末の忘年会シーズンを迎えることから、

◎ 幹線道路における集中的なミニ検問

◎ 悪質交通違反者に対しては強制捜査(逮捕)

で対応するなど、引き続き交通指導取締りを強力に推進する。

○ 広報・啓発活動の推進

あらゆる機会、媒体を利用した広報・啓発活動を積極的に推進し、交通秩序の維持を図っていく。特に飲酒運転の根絶に重点を置いた広報を推進する。

○ 歩行者の交通事故対策の推進（新規追加）

歩行者事故、子供の飛び出し事故は、8月末現在、35件(前年同期比22件増)であり、歩行者妨害に係る交通事故は14件(前年同期比9件増)である。

歩行者妨害違反の取締件数は58件(前年同期比4件増)であり、今後も継続した交通取締りを強力に推進し、道路における歩行者の保護を推進する。

## 諮問に対する意見・質疑等（○は署長等の説明）

**1 先日の朝方、携帯電話に不審な電子メールが着信していた。内容は代金の未払い請求であったが、このような相談はいつ、どこに相談したらいいのか。**

○ 地域住民から寄せられる相談は警察署で集約していますので、相談は身近な交番・駐在所でも構いません。

**2 8月末現在、少年の万引きが増えたとの報告があったが、江南区の少年が増えたのか。答えられる範囲で答えていただきたい。**

○ 万引きで補導した少年は、全て江南区の少年というわけではなく、他の区から来た少年もいます。

**3 万引きを捕まえるのは、店員が多いのか、警備の保安員が多いのか。また、高齢者の万引きが増えていると聞かすが、実態はどうか。**

○ 具体的な数字は集計していませんが、取扱状況から見た場合、保安員が犯人を捕まえることが多く、年齢的には年金受給者などの高齢者を多く検挙している実態があります。

## 答申

質疑の後、江南警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

## 速度等取締り指針の策定

署長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。

## その他

議事終了後、警察本部交通企画課による歩行環境シミュレーター「わたりジョーズ君」の実演講習を受け、全協議会委員が体験した。

体験した協議会委員から、

- 「道路を横断する場合は、左右から進行して来る車両をしっかりと確認しなければならないと改めて感じた。」
- 「このようなシミュレータがあることを初めて知った。機会があれば、地元の老人会等でも体験させたい。」

等の意見や感想があった。

### 【協議会開催状況】

